

令和5年3月30日

教育委員会教育長 様

札幌東高等学校長

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 目指す学校像の実現を図るため、学校経営参画意識の高揚及び協働体制の確立に努める。
- (2) 身に付けさせる資質・能力を明確にし、教育活動の充実を図り教育の質の向上に努める。
- (3) 一人一人の個性や能力に応じた指導を目指し、教育課程の編成・実施及び主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に努める。
- (4) 社会的・職業的に自立するための系統的・組織的なキャリア教育の充実を努める。
- (5) 生徒と保護者、地域からの期待や信頼に応える魅力ある学校づくりに努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・シラバスを再整備し観点別評価と一体化した指導を展開した。「主体的・対話的で深い学び」の充実に向け、タブレット等を活用した個別最適な学びと協働的な学びに係る授業研究がより一層必要 ・探究的な学習の充実及び有限な授業時間の効果的な活用のため、評価方法の工夫・改善が必要	○取組は概ね良好である。 ・グループワークなど多様な方法による指導が行われている。より一層実践的な学びの充実を期待する。 ・多様な教育活動が展開されており、内容も充実している。引き続き、次代を担う生徒の育成に期待する。
改善方策	・「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法および ICT 機器の活用について、研修を実施 ・生徒自己評価におけるアンケート内容の改善、シラバスの活用 ・ペーパー教材とデジタル教材の効果的な活用を推進	
生徒指導	・コロナ禍でも学校祭や見学旅行等を最大限に活用し協調性等の育成に努めた。さらに集団生活に適応する力を一層身につけることが必要 ・社会課題や学校生活を生徒が主体的に考える機会を設け、学校行事の在り方等に実効性を持たせることが必要	○取組は概ね良好である。 ・より一層臆せず他者に声をかけたり、発表・質問できる力など、コミュニケーション能力の育成を期待する。 ・生徒は、物事の趣旨を理解し、厳格に対応することから、生徒が主体的に考え、活動することのできる指導を期待する。
改善方策	・授業での協働的な学習やホームルームでの活動、学年レク等により集団への帰属意識を醸成 ・生徒会活動等の充実により、主体的で自治的かつ協働的で実際的な問題解決力を育成	
進路指導	・教員養成講座、医学部メディカル講座の開催し成果をあげた。コロナ禍の制限緩和を見据え、個々に求められるスキルや経験を考え、獲得させる活動の充実が必要 ・学校推薦型や総合型選抜入試の活用を考える生徒には、校内外での様々な活動を通して幅広い学習や経験が必要	○取組は概ね良好である。 ・外部講師を招聘した活動が充実している。海外研修や大学研究室訪問を再開し、キャリア教育の一層の充実を期待する。 ・共通テストや個別試験への対応のみならず、大学卒業後を見据えた様々な学習活動の充実を期待する。
改善方策	・「東高コンピテンシー」育成の観点から、大学での学問や卒業後の進路を見据えた、系統的・組織的なキャリア教育の実施 ・探究的な学習の充実を目指した海外研修や大学探訪等の再開 ・校内外の事業やセミナー等を積極的に活用するとともに、「総合的な探究の時間」と教科における探究的な学習や教科等横断的な学習の往還を推進	
健康安全指導	・学校不適応傾向の生徒に対して、担任等が面談、声かけ等により個々に対応している。早期対応の観点から、より一層専門的な見地からの教育相談が必要 ・デジタル機器の活用による健康不安が懸念されることから、関連した指導が必要	○取組は概ね良好である。 ・専門家や外部機関の活用等を積極的に行い、個々の生徒が個性を大切にできる学校環境を構築するよう期待する。 ・保健体育の授業や保健だより等による注意喚起に加え、生徒による探究活動を通じて自己絵啓発できるよう期待する。
改善方策	・スクールカウンセラーとの連携やメンタルヘルスやストレスマネジメント等による予防的取組の実施及び組織的教育相談の充実 ・保健講話や保健だよりにおいて、デジタル機器の活用が心身に与える影響について周知するとともに、探究活動など、生徒による主体的な取組を喚起	
公表方法	・本校ウェブページに掲載	